

二ノ二六、枕草子

出典 日本古典文学大系

解説 二〇八段、「寺は」の項に笠置寺がでている。壺坂寺は観音の霊場として、笠置寺は弥勒の霊場として、法輪寺は薬師の霊場として当時著名であつたから、数ある名寺の中でこの三寺が取り上げられたのだろうか。

原文

〔二〇八〕

寺は 壺坂、笠置、法輪、靈山は、釈迦仏の御住みかなるがあはれなるなり、石山、粉河、志賀。